

Chinese Japanese



東京外国語大学国際日本研究センター
国際日本語教育部門主催第6回ワークショップ

「依頼行為の対照研究 －日本語母語話者と中国人日本語学習者」

☆ 発表者：孫 楊氏

(中国揚州大学外国語学院准教授、本学外国人研究員)

☆ 日 時：2014年12月11日(木)17:40～19:10

☆ 会 場：東京外国語大学府中キャンパス研究講義棟1階113教室

★ 一般公開・参加費無料 ★

本研究は、日本語母語話者と中国人日本語学習者を対象とし、4つの依頼行為場面での質問紙調査を実施した。

その結果、中国人日本語学習者は日本語の言語運用規則への認識が不十分であるため、日本語母語話者のように、話し手と聞き手との距離(D)、力(P)、負担の度合い(R)、及び事態場面などの要因に応じて用いるバリエーションが少なく、典型的な依頼表現の使い分けもできていないことなどが分かった。

《プログラム》

17時40分～18時30分 発表

18時30分～19時10分 ディスカッション

国際日本語教育部門：小林幸江 望月圭子 佐野洋 鈴木美加 谷口龍子

お問い合わせ

東京外国語大学 国際日本研究センター
電話: 042-330-5794 info-icjs@tufs.ac.jp

中文